

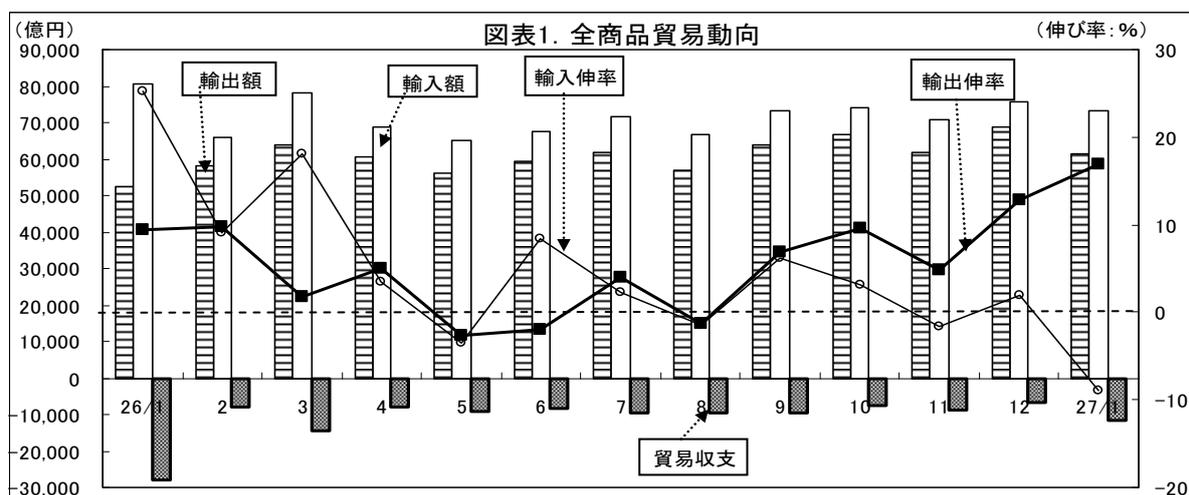
最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出伸び率5ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.3.19.

平成27年1月の機械輸出額は3兆8,951億円、対前年同月比17.2%増と5ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①円安が進んだこと、②6地域向け全てがプラスとなったこと、③機械輸出額の約33%を占める自動車をはじめ、産業機械、電子デバイス等が大きくプラスになったことなどによる。為替要因と春節の影響を合わせて8.7%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は7.8%増と4ヶ月連続でプラスとなった。2015年2月は為替や春節の影響を考慮すると6.3%の増加要因となり、仮に1月の機械輸出額の実質的伸び(7.8%増)が続くとすれば、前年比14.6%増と予想されたが、3月18日発表の貿易統計速報による簡易計算では2月の機械輸出は2.8%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は5ヶ月連続でプラス、輸入は大幅にマイナス、貿易収支は6割減～

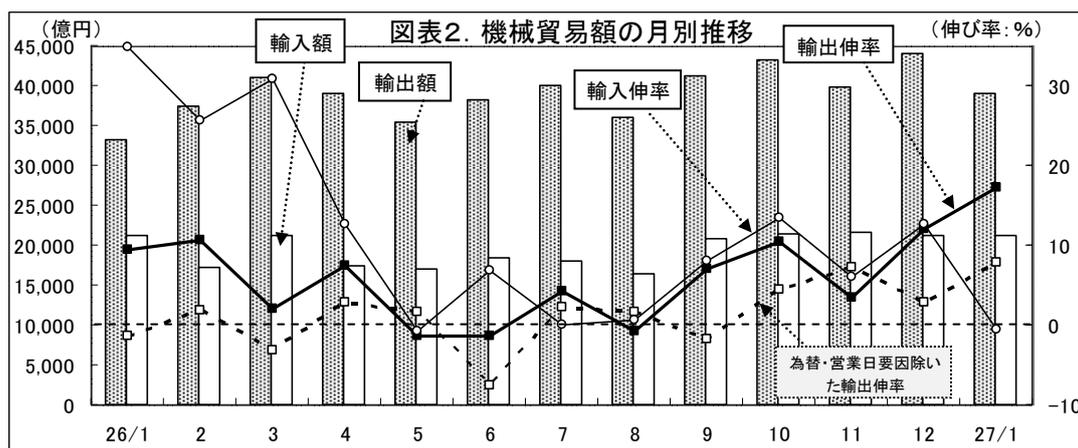
- 平成27年1月の全商品輸出額は**6兆1,434億円**、前年同月比(以下同じ)**17.0%増**と5ヶ月連続でプラス成長となった(12月12.8%増)。これは、全輸出額の約19%を占める一般機械(16.8%増)、17%の電気機器(23.1%増)等が大きく増加したためである。
- 輸入額は**7兆3,225億円**、**9.0%減**とマイナスとなった(12月1.9%増)。全輸入額の約29%を占める原油等鉱物性燃料(24.4%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆1,791億円の赤字となったが、輸出が輸入に比べて大幅に増加したため、昨年1月に比べて赤字幅が約58%減少した(昨年1月は2兆7,950億円)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は大きくプラス、輸入は6ヶ月ぶりにマイナス～

- 全商品輸出額の約63%を占める1月の機械輸出額は**3兆8,951億円**、**17.2%増**と5ヶ月連続で拡大し(12月12.0%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2008年1月)と比べると**89.0%**となり、前月に比べて3.0ポイント改善した(12月86.0%)。
- 一方、全商品輸入額の約29%を占める機械輸入額は、**2兆1,196億円**、**0.5%減**と6ヶ月ぶりにマイナスとなったが(12月12.6%増)、リーマンショック前(2008年1月)の水準と比較しても23.5%増となっている。

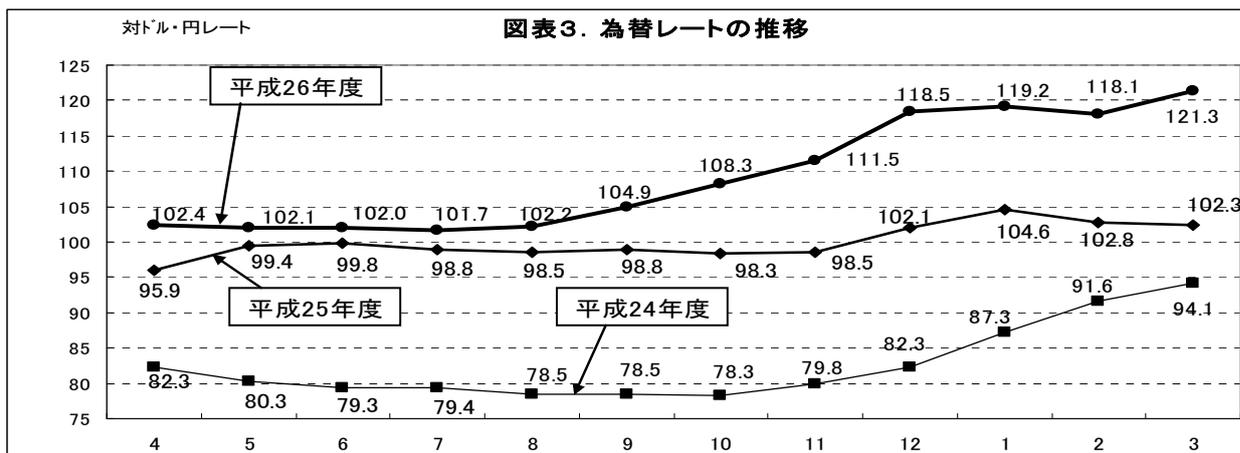


(2) 為替動向・営業日～1月は7.5%の増加要因、2月は約6.3%の増加要因～

1) 2015年1月は1ドル=119.2円となり、前年に比べ14.0%の円安となった。また、対ユーロは143.3円と前年に対して0.3%の円安となり、合わせて約7.5%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて1日多く、1.1%の増加要因となり、合計で約8.7%の増加要因となる。1月の輸出額は17.2%増であったことから、実質的伸び率は7.8%増と4ヶ月連続でプラスとなった(12月2.8%増)。

2) 2015年2月は1ドル=118.1円で前年比14.9%の円安、対ユーロでは134.6円で前年比3.7%の円高となり、合わせて約7.8%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて1日少なく、1.4%の減少要因となり、合計で約6.3%の増加要因となる。

3) 2015年3月は、対ドルが3月18日17:00時点の121.3円とすれば、前年に比べて18.6%の円安、また、対ユーロは128.7円で8.7%の円高となり、合わせると約9.4%の為替増加要因となる。営業日は前年より2日多いため、10.0%の増加要因となり、合計で約20.3%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～全地域向けでプラス、韓国・台湾向けを除いて二桁増～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①20.3%の中国向けで、全体の19%を占める産業機械(38.0%増)、10%の光学機械(31.8%増)、重電気機械(55.0%増)等が伸びて31.2%増となり、②次は、15.5%を占めるASEAN・南アジア向けで、ベトナム(2.25倍)、シンガポール(39.8%増)、フィリピン(27.2%増)、タイ(19.0%増)等が大幅に増加し、業種では、全体の23%を占める自動車(17.3%増)に加え、産業機械(25.1%増)、電子デバイス(40.0%増)、重電気機械(26.2%増)等が増加して26.2%増となった。③9.3%の韓国・台湾向けは、半導体製造装置等産業機械(18.7%増)、電子デバイス(26.6%増)、自動車(49.2%増)、重電気機械(29.4%増)等が増加して21.2%増となり、④25.4%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の49%を占める自動車(13.3%増)をはじめ、産業機械(21.5%増)、建設機械(29.6%増)等が大幅に増加して15.6%増となった。⑤12.1%のEU向けでは、34%を占める自動車(11.7%増)をはじめ、理化学用機器等軽機械(13.3%増)、船舶(49.5%増)等が増加して8.2%増となり、⑥17.4%を占めるその他地域向けは、アフリカ(55.9%増)、大洋州(11.8%増)等向けが増加し、機種では全体の56%を占める自動車(3.4%増)をはじめ、船舶(19.0%増)、産業機械(22.9%増)等が大幅に増加して4.0%増となった。

2) また、リーマンショック前の2008年1月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超えたものの、北米向けが90%台、韓国・台湾向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/11			2014/12			2015/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,717	3.4	100	44,003	12.0	100.0	38,951	17.2	100.0	0.89
北米	10,039	2.3	25.3	11,603	21.9	26.4	9,900	15.6	25.4	0.91
中国	8,762	3.1	22.1	9,332	4.2	21.2	7,911	31.2	20.3	1.14
ASEAN・南アジア	6,092	4.4	15.3	6,711	14.0	15.3	6,020	26.2	15.5	1.17
EU	4,261	▲0.02	10.7	5,011	5.4	11.4	4,722	8.2	12.1	0.62
韓国・台湾	3,731	8.6	9.4	4,126	12.2	9.4	3,628	21.2	9.3	0.84
その他	6,832	4.2	17.2	7,221	11.5	16.4	6,769	4.0	17.4	0.76

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2014/10		2014/11		2014/12		2015/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,896	▲ 7.4	2,042	17.4	2,133	22.5	1,947	32.3
台湾	1,824	17.8	1,689	▲ 0.5	1,993	2.9	1,681	10.5
ASEAN・南アジア								
タイ	1,614	▲ 5.4	1,729	▲ 2.2	1,800	4.8	1,661	19.0
シンガポール	1,199	48.5	951	▲ 4.0	931	11.8	1,043	39.8
インドネシア	779	▲ 11.6	693	▲ 17.3	851	▲ 8.7	650	▲ 14.2
マレーシア	711	▲ 8.2	676	▲ 3.9	749	▲ 2.3	644	10.4
フィリピン	608	13.9	580	16.8	636	30.0	569	27.2
ベトナム	654	43.7	681	49.4	794	64.3	720	125.4
インド	491	45.8	408	29.0	472	26.2	336	6.1
パキスタン	109	27.6	95	13.5	145	34.1	86	18.1
その他地域								
中南米	2,655	8.0	1,984	1.4	2,344	18.2	1,977	5.1
中近東	2,249	28.2	2,186	19.4	2,451	27.9	1,715	5.4
大洋州	1,256	13.8	1,132	6.2	1,020	2.2	1,205	11.8
ロシア東欧等	1,157	▲ 18.0	856	▲ 17.9	812	▲ 23.4	978	▲ 26.7
アフリカ	867	44.2	693	▲ 1.4	676	15.8	950	55.9

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～21 業種中マイナスは 2 業種、自動車・産業機械・電子デバイスは二桁の伸び～

- 業種別では、全 21 業種中 2 業種がマイナスとなり、前月より 1 業種増加した。業種では、全体の約 33%を占める自動車(10.2%増)が 2 ヶ月連続でプラスとなり、17%の産業機械(21.0%増)が 5 ヶ月連続、8%の電子デバイス(24.3%増)が 6 ヶ月連続のプラスとなり、この 3 業種に加えて、船舶(35.5%増)、軽機械(22.3%増)、光学機械(23.5%増)、工作機械(40.1%増)、医療機械(36.2%増)、ベアリング(13.8%増)等の 16 業種が二桁の成長となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、ベアリング、軽機械、光学機械、工作機械、医療機械、重電気機械、産業機械の 9 業種で前月より 2 業種増え、他方、電子計算機が 40%台、民生用電子機械、産業車両が 50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2014/11				2014/12				2015/1				対08/11比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	13,756	▲ 1.1	31.9	自動車	15,198	10.3	34.5	自動車	12,915	10.2	33.2	0.81
産業機械	6,796	6.1	15.7	産業機械	7,836	11.8	17.8	産業機械	6,662	21.0	17.1	1.01
電子デバイス	3,292	14.9	7.6	電子デバイス	3,490	18.1	7.9	電子デバイス	3,166	24.3	8.1	0.87
軽電気機械	1,999	1.9	4.6	軽電気機械	2,272	10.7	5.2	船舶	2,139	35.5	5.5	0.86
重電気機械	1,994	7.0	4.6	重電気機械	2,230	13.5	5.1	軽電気機械	1,941	23.7	5.0	0.88
光学機械	1,603	15.4	3.7	軽機械	1,764	12.2	4.0	重電気機械	1,937	23.8	5.0	1.13
軽機械	1,594	6.7	3.7	光学機械	1,758	15.4	4.0	軽機械	1,496	22.3	3.8	1.28
民生用電子機械	1,581	▲ 1.2	3.7	民生用電子機械	1,571	0.2	3.6	光学機械	1,478	23.5	3.8	1.28
建設機械	1,031	11.9	2.4	建設機械	1,276	19.8	2.9	民生用電子機械	1,476	22.5	3.8	0.55
船舶	1,002	▲ 26.5	2.3	工作機械	984	20.2	2.2	建設機械	918	6.7	2.4	0.81
工作機械	828	22.0	1.9	船舶	914	5.5	2.1	工作機械	869	40.1	2.2	1.26
航空機部品	686	11.8	1.6	航空機部品	762	25.6	1.7	航空機部品	737	▲ 6.0	1.9	1.92
通信機械	633	19.4	1.5	通信機械	693	30.3	1.6	通信機械	520	13.8	1.3	0.69
電子計算機	538	10.2	1.2	電子計算機	581	2.1	1.3	電子計算機	452	15.1	1.2	0.499
医療機械	470	19.1	1.1	医療機械	533	23.9	1.2	医療機械	415	36.2	1.1	1.25
ベアリング	414	6.8	1.0	ベアリング	466	20.4	1.1	ベアリング	405	13.8	1.0	1.32
陸用内燃機関	354	7.7	0.8	陸用内燃機関	424	17.5	1.0	陸用内燃機関	340	10.3	0.9	0.92
農業機械	190	17.1	0.4	農業機械	215	25.1	0.5	農業機械	166	15.9	0.4	0.77
繊維機械	176	▲ 25.6	0.4	繊維機械	165	▲ 29.8	0.4	繊維機械	137	▲ 16.6	0.4	0.72
産業車両	126	2.3	0.3	産業車両	128	4.3	0.3	産業車両	108	5.0	0.3	0.57
鉄道車両	52	▲ 19.9	0.1	鉄道車両	100	3.6	0.2	鉄道車両	72	4.7	0.2	1.49
21業種合計	39,117		90.6	21業種合計	43,357		98.5	21業種合計	38,347		98.4	0.89

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～発電機、時計をはじめ9機種が30%以上増、繊維機械は5ヶ月連続でマイナス～

1)10%以上の伸び率を示した機種は、①韓国・台湾、ASEAN・南アジア、中国、北米向け**発電機**(106.2%増)、②中国向け**時計**(54.4%増)、③中国向け**電池**(51.7%増)、④ASEAN・南アジア、中国、北米向け**工作機械**(40.1%増)、⑤北米、EU、中国向け**医療機械**(36.2%増)、⑥ASEAN・南アジア、EU、中国向け**船舶**(35.5%)、⑦中国、北米向け**デジカメ・ビデオ**(33.5%増)、⑧ASEAN・南アジア、中国向け**金属加工機械**(31.9%増)、⑨北米、中国、韓国・台湾向け**電動機**(31.2%増)、⑩中国、ASEAN・南アジア向け**その他重電機器・部分品**(29.9%増)であった。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(16.6%減)で、5ヶ月連続マイナスあった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2014/11			2014/12			2015/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	335	40.1	受信変換その他送受信	148	37.7	発電機	115	106.2
電動機	162	24.3	電動機	163	35.5	時計	97	54.4
工作機械	828	22.0	通信機械部分品	340	32.2	電池	232	51.7
医療機械	470	19.1	原動力機械	567	30.2	工作機械	869	40.1
磁気カード・ディスク等	185	18.8	航空機部品	762	25.6	医療機械	415	36.2
その他の光学機器	1,373	17.6	農業機械	215	25.1	船舶	2,139	35.5
半導体製造装置	1,320	17.2	医療機械	533	23.9	デジカメ・ビデオ	385	33.5
農業機械	190	17.1	写真機の部分品・附属品	152	22.2	金属加工機械	269	31.9
理化学用機器	424	15.7	ベアリング	466	20.4	電動機	150	31.2
TV	115	15.5	工作機械	984	20.2	その他の重電機器・部分品	491	29.9
機種合計	5,402	* 13.6%	機種合計	4,329	* 9.8%	機種合計	5,161	* 13.3%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2014/11			2014/12			2015/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,002	▲ 26.5	繊維機械	165	▲ 29.8	繊維機械	137	▲ 16.6
発電機	77	▲ 25.8	デジカメ・ビデオ	388	▲ 18.2	機種合計	137	* 0.4%
繊維機械	176	▲ 25.6	機種合計	552	* 1.3%			
鉄道車両	52	▲ 19.9						
デジカメ・ビデオ	450	▲ 13.6						
機種合計	1,758	* 4.4%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～6ヶ月ぶりにマイナス。電子計算機、携帯電話等がマイナス～

1)1月の機械輸入伸び率は0.5%減と6ヶ月ぶりにマイナスとなった。電子デバイス(1.8%増)、自動車部品(4.0%増)、航空機・部品等(9.9%増)等がプラスとなったものの、電子計算機(16.9%減)、携帯電話(7.3%減)をはじめ、白物家電(7.7%減)、医療機械(3.5%減)、受信変換・その他送受信(4.3%減)等がマイナスとなったことによる。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、通信機械部分品、TV、時計となっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の43%を占める中国(6.3%減)、ASEAN・南アジア(8.1%増)、北米(7.3%増)、EU(0.7%減)、韓国・台湾(2.9%増)、その他地域(3.1%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2014/11				2014/12				2015/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,843	26.6	13.2	電子デバイス	2,448	14.9	11.5	電子デバイス	2,625	1.8	12.4
電子デバイス	2,412	12.7	11.2	電子計算機	2,143	▲ 2.6	10.1	電子計算機	2,108	▲ 16.9	9.9
電子計算機	1,943	▲ 0.5	9.0	携帯電話	1,692	34.0	8.0	携帯電話	1,316	▲ 7.3	6.2
航空機・部品等	1,267	▲ 20.0	5.9	航空機・部品等	1,242	75.7	5.9	自動車部品	1,216	4.0	5.7
自動車部品	1,101	8.2	5.1	乗用車	1,107	▲ 7.2	5.2	航空機・部品等	1,191	9.9	5.6
乗用車	1,024	11.2	4.8	自動車部品	1,067	6.4	5.0	乗用車	946	2.2	4.5
白物家電	701	▲ 3.8	3.3	白物家電	694	▲ 0.8	3.3	白物家電	738	▲ 7.7	3.5
医療機械	622	▲ 7.5	2.9	医療機械	658	2.2	3.1	医療機械	639	▲ 3.5	3.0
受信変換その他送受信	548	4.7	2.5	受信変換その他送受信	581	3.1	2.7	配電機器	607	▲ 0.5	2.9
配電機器	528	▲ 0.5	2.5	配電機器	578	6.9	2.7	受信変換その他送受信	596	▲ 4.3	2.8
その他の配電制御装置	407	22.4	1.9	その他の配電制御装置	408	17.5	1.9	その他の配電制御装置	445	19.1	2.1
コンデンサー等部分品	387	3.7	1.8	コンデンサー等部分品	406	13.3	1.9	コンデンサー等部分品	394	▲ 6.2	1.9
12機種合計	13,783		64.1	12機種合計	13,024		61.4	12機種合計	12,821		60.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等